

氏名	黒田 真由美	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	地域看護学、緩和ケア、看護教育				
学位	修士(看護学)				
学歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 2017年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士前期課程				
経歴	2017年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本在宅ケア学会、日本公衆衛生看護学会、日本ホスピスケア・在宅ケア研究会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	看護基礎教育における最期まで生きることを支える教育の現状と課題	共著	あり	ホスピスケアと在宅ケア、27(3)、261-270	黒田真由美、常盤文枝、川畑貴美子	2019.12
2	子供教室における異学年間の交流促進を目的とした実践報告-教員と大学生の共同による準備と当日の展開-	共著	なし	子ども・教職研究第3巻、53-67	森田満理子、保科寧子、藤枝静暁、上原美子、黒田真由美、松本佳子、張平平、望月浩江	2020. 3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	在宅でGood deathを支える訪問看護師の姿勢と看護基礎教育への期待	共同		第24回日本在宅ケア学会、仙台市	○黒田真由美、常盤文枝、星野純子	2019.7
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			市町村の保健師分散配置時代に対応した保健師教育プログラムの開発	研究分担者	2019.4~2022.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	在宅看護学		2	在宅療養を支える日常生活援助や医療技術や医療的ケア児の生活をイメージできるようDVD、写真・絵を活用した。事例に基づき障害福祉サービスについて説明した。		
2	地域看護学 I		0.5	保健師としての経験を基に、住民との関わり・自主グループの支援による地域づくりについて、1年生にイメージできるように講義した。		
3	公衆衛生看護展開論Ⅲ(感染症保健)		2	感染症予防の健康教育企画案作成のグループワークで、ディスカッションが深まるよう指導を行った。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	在宅看護学		5	看護過程の演習では、事例を活用した演習のワークブックを作成し、グループ学習が円滑に進むように介入した。		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	公衆衛生看護学実習		2019.5~6	保健所3クール、3つの市町村、2つの産業施設を担当し、地区踏査による地区診断が深化し、健康課題解決に向けた公衆衛生看護の役割への理解が深まるよう、実習指導者と連携しながら指導を行った。		

2	総合実習		2019.7	精神科訪問看護ステーションと地域保活支援センターでの3名の学生実習を担当し、学生個々の課題達成と、地域における看護職の役割を理解できるよう、実習指導者と共に指導した。
3	IPW実習		2019.1	教員ファシリテーターとして、学生個々の専門性を発揮した協働関係を築き、対象者のニーズや地域特性を理解できるように支援した。
4	在宅看護学実習		2019.11～12	4クール計24名の訪問看護ステーションと病院(退院支援・地域連携)実習指導を担当し、療養者の生活を知り、看護の役割を考えられるように指導した。
(4)論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2019.4～2020.1	主指導 2名 副指導 名
2				主指導(指導教員) 名 副指導(指導補助教員) 名
3				主指導(指導教員) 名 副指導(指導補助教員) 名
(5)その他				
	名称		期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	保健師としての就職活動支援		2019.7～9	保健師就職を希望する学生に対し、模擬面接・集団討論の設定し、助言指導を行った。エントリーシートの記入や面接前の個別相談にも応じた。
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ
1	夢を見つける！リアル体験教室「看護師になりたい」		埼玉県県民生活部	ぴかぴかの手！病気の予防は手洗いから
2	認定看護師フォローアップ研修		埼玉県立大学	「癒しの瞑想」と「せん妄を極めよう」の司会進行
(2)国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	該当なし			
(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4)その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	一般市民	がん緩和ケアサロンの企画・運営	2019.4～現在
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	山西医科大学留学生の担当し、学部4名、大学院4名の病院等施設見学調整・引率、学部生の学習環境調整・生活上の相談対応などを行った。		2019.4～2020.2
2	学長指定プロジェクトへの関与	研究開発センタープロジェクトFメンバーとして、春日部市子ども教室における実践的基礎研究に携わっている。		2018.3～現在
3	大学広報活動	8月のオープンキャンパスにて地域看護学実習室を担当し、公衆衛生系の学生と共に、新生児の計測体験や展示により、地域看護の魅力を伝えた。		2019.8
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			